

三浦市議会だより

第1回定例会

平成二十年度予算成立 まちづくり条例 継続審査へ



本市を代表する歴史行事「道寸祭り」に行われる「笠懸」
 ～今年は5月25日(日)に油壺の荒井浜海岸で行われます～

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
3月3日	月	本会議	会期の決定、施政方針、議案の説明・採決
4日	火	本会議	意見書案、一般質問
5日	水	本会議	一般質問
6日	木	本会議	一般質問、議案の上程(説明・質疑・委員会付託)、予算審査特別委員会の設置並びに委員及び正副委員長長の選任
7日	金	総務経済常任委員会	議案・陳情の審査、委員の派遣について
8日	土	休会	
9日	日	休会	
10日	月	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査、委員の派遣について
11日	火	予備日	
12日	水	予算審査特別委員会	議案の審査
13日	木	予算審査特別委員会	議案の審査
14日	金	予算審査特別委員会	議案の審査
15日	土	休会	
16日	日	休会	
17日	月	予算審査特別委員会	議案の審査
18日	火	予算審査特別委員会	議案の審査
19日	水	二町谷水産加工団地対策特別委員会 財政健全化対策特別委員会	二町谷水産加工団地対策に関する審査 財政健全化対策に関する審査
20日	木	休会	
21日	金	予備日	
22日	土	休会	
23日	日	休会	
24日	月	予備日	
25日	火	本会議	総務経済・都市厚生・予算審査の各委員長報告、討論、採決、追加議案の説明・採決、諮問(人権擁護委員の推薦)、閉会中継続審査申し出、報告

平成二十一年第一回定例会は、三月三日から二十五日までの十三日間を会期とし、市長から提出された平成二十年度予算や議員提出の「三浦市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」など三十四議案を審議しました。その結果、三十三議案は全会一致または賛成多数で可決、「三浦市まちづくり条例」は継続審査となりました。そのほか、「道路特定財源の確保に関する意見書」を可決し、関係機関に送付しました。一般質問では、十四人の議員が市政運営について市側の考えをいただきました。

〈議会だより第90号の内容〉

定例会の経過と概要 …… 1面
 予算審査特別委員会 …… 1～2面
 常任委員会 …… 2面
 新たに提出された陳情 …… 2面
 一般質問 …… 3～7面
 陳情の審査結果 …… 8面
 議案等の審議結果 …… 8面
 可決した意見書 …… 8面
 本会議における討論 …… 8面
 人権擁護委員の推薦 …… 8面
 委員会条例等を改正 …… 8面
 次回定例会の予定 …… 8面

予算審査特別委員会 議案の審査概要

平成二十年度の一般、特別及び公営企業の九会計の予算議案は、八人の委員で構成する予算審査特別委員会に付託され、五日間にわたり審査されました。

※「総括質疑」は質疑の概略を、「一般会計」「特別会計」「企業会計」は主要な質疑の項目を掲載します。

予算審査特別委員会

- 委員長 中谷博厚
 副委員長 北川年一
 委員 神田真弓
 出口真琴
 原田雅一
 佐瀬喜代志
 小林直樹
 四宮洋二

総括質疑

市政全般にわたり市長に質疑

二十年度予算の編成
 質問 予算編成で重視した点は。

答弁 福祉や子育てへの優先的な配分に心がけた。

質問 歳出の無駄を省く取り組みは。

答弁 無駄遣いできる予算はなく、大変きめ細かいチェックをした。

三浦市の活性化策
 質問 三崎下町活性化

への考えは。

答弁 下町の活性化は喫緊の課題であり、地域の皆さんとともに道筋をつくりたい。

質問 開発事業の誘導について見解を伺う。

答弁 町の活性化のために人口をふやす必要がある。事業者と住民との間に入り、良好なまちづくりに向けて精いっぱい頑張りたい。

質問 民間委託についての考え方は。

答弁 多くの反対署名が提出されたが、食の安全を守る点での食い違いはないと考える。

意見 市の財政負担がより少なくなるよう、委託開始時期を比較検討すべきである。

(その他の質疑項目)
 ・市民サービスの向上について
 ・二町谷地区の汚水処理場の維持管理費について
 ・市立病院の経営健全化について、ほか

○道路整備の必要性	(公明党 藤田 昇) ……………	3面
○総合計画の次期基本計画策定	(無所属 石原正宣) ……………	3面
○市政情報を市民に	(みうら市政会 草間道治) ……………	4面
○三浦市立病院の経営	(フォーラムみうら 北川年一) ……………	4面
○子どもを育てる環境づくり	(日本共産党 立本眞須美) ……………	4面
○観光基本計画策定と来遊客誘致	(公明党 佐瀬喜代志) ……………	5面
○農業後継者減少への対策	(無所属 原田雅一) ……………	5面
○三浦市の障害者支援	(みうら市政会 出口眞琴) ……………	5面
○目的を持った人事政策を	(フォーラムみうら 松原敬司) ……………	6面
○施政方針の矛盾点	(日本共産党 石橋むつみ) ……………	6面
○「あったかいまち」とは	(無所属 高梨 孝) ……………	6面
○チーム・マイナス6%	(みうら市政会 神田眞弓) ……………	7面
○二町谷埋立地の企業誘致策	(日本共産党 小林直樹) ……………	7面
○三浦海岸駅周辺の道路整備	(みうら市政会 中谷博厚) ……………	7面



道路整備の必要性

はしか、新型インフルエンザへの対策

公明党 藤田 昇

質問 三浦縦貫道路等の早期実現を初め、市内の道路整備は重要課題の一つであり、市でも国・県へ具体的な要望を行っている。

幹線道路整備の必要性について、市長の考えを改めて伺いたい。

市長 市内の幹線道路は、地域の生活道路として重要な役割を担っている。三浦縦貫道路及び西海岸線道路は、とりわけ地域、経済、

社会活動の活性化に寄与するものであり、防災面からも重要な路線として位置づけていることから、その整備は最優先にと考えている。

はしか流行の対策

近年、はしかが流行しており、感染拡大の防止のため国はワクチン接種を呼びかけている。

市ではどのような予防対策を行っているか。

保健福祉部長

予防接種対象者への個別通知や未接種者への通知のほか、電話による勧奨等を行っている。

接種率九五%を目指し、広報紙等によりさまざまな機会をとらえて勧奨をしていきたい。

肺疾患の予防

最近、「肺の生活習慣病」と言われるCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の予防が重要視されている。COPDは、肺がんと同様に喫煙によりかかりやすくなる病気のため、禁煙の普及啓発をすることが重要であるが、市ではどのように推進しているか。

良債務が生じたが、今後の対応は。

市長 ①内科医師三名の退職に伴い、四月からは非常勤医師や院内での異動により体制を維持する。常勤の内科・整形外科医師確保のため、あらゆる手段で対応したい。

②十七、十八年度で生じた不良債務には一般会計補助金で、十九年度に発生すると予測される部分には公立病院特例債での対応を考えている。

保健福祉部長

地域の保健衛生委員等の協力により分煙紙芝居を使った健康教室や保健師まつりでの分煙教育を行っている。

新型インフルエンザ

世界的な流行が危惧されている新型インフルエンザウイルスへの対策として、市の危機管理体制、広域を含めた医療機関や関係機関との連携についてお聞きしたい。

はしかの予防接種は受けていますか？

質問

二十年度には、県の保健福祉事務所が主管となり、医師会や行政機関等が情報交換及び対策を行う連絡会を立ち上げる予定である。市民への情報提供も重要なことであり、検討してまいりたい。

また、市民に対する正確な情報の周知徹底

質問

平成二十二年までの事業着手凍結の解除については、結論は出なかったのか。

十九年度中に結論を出したかったが、厳しい財政状況の中、決断し切れていない。

総合計画の次期基本計画策定

市立病院経営、土地開発公社、西南部公共下水道

無所属 石原 正宣

※は欄外に説明を記載

質問 ①第4次総合計画の次期基本計画、実施計画策定の業務委託は、生活環境ニーズアンケートの実施等、かなりの業務量があるが、本年六月までに実施体系と基本計画案をまと

められるのか。

②密接な関係にある都市マスタープランとの整合性を伺う。

市長 ①契約事務の準備に予定以上の時間を要しているが、今後の調整により予定どおりの成果が得られるよう精いっぱい努力したい。

②庁内連携をさらに強化し、改定後の基本計画と都市マスタープランとの整合性を図りたい。

市立病院の体制と経営 ①内科を初めとする各科の医師体制の現状と対策は。

②平成十七、十八年度で一億七千万円の不

土地開発公社の経営

質問 ①土地開発公社の負債の扱いには二町谷の関係は入っていないか。

西南部公共下水道

西南部公共下水道



土地開発公社が保有する二町谷埋立地

※財政健全化法……地方公共団体の財政の健全化に関する法律

市政情報を市民に

ごみ処理広域化、農業体験、農業者年金

みうら市政会 草間 道治

ごみ問題 横須賀市、葉山町との二市一町ごみ処理広域化基本計画については、最近になって葉山町の情勢が変化してきたことだが、今後どのように進めていくのか。

市長 葉山町の状況を見定めつつ、横須賀市と調整して対応したい。

市長 施策や進行管理等の市政情報の公開などをより充実させる必要性を強く感じており、情報戦略の重要性を再認識した取り組みをしていきたい。

質問 シンプル・スピード・サービスの「3つのS」や、まちづくりの理念「ロハス」などの市政における基本姿勢等の情報を、いかに市民に浸透させていくのが今後の課題ではないか。

体験ツアーの企画 営業開発課の取り組みとして、旅行会社、農業生産者、行政による収穫体験ツアーが多数企画されているが、十九年度の成果を伺いたい。

体験ツアーを通じて、都会の方に三浦の農産物や自然に触れていただくとともに、このよな地道な取り組みが、三浦の農産物の消費拡大につながると思うので、今後も企画を立案していただきたい。

市長 十九年度は、かながわ名産百選に市内の特産品の二十品が選ばれ、これらを盛り込んだ旅行商品を多く企画した。

商品化された十八本のツアーのうち、十四本が野菜等の収穫体験ツアーであり、中でも親子でキャベツの植えつけから収穫まで体験できる「わくわく畑教室」や、浅づけタクラワンの漬け込み体験ツアーはキャンセル待ちが出るほど好評であった。

農業者年金制度 旧農業者年金制度において、手続き等の遅延により加入者が経営移譲年金を受給できないという事態が生じている。再発防止策や今後の対応をお聞きしたい。

市長 年金受給申請については、事前説明会を行っているが、申請漏れのないよう県農業会議、農協などの関係機関と十分に連携し、該当者への連絡を密にしていきたい。

三浦市立病院の経営 国の社会保障と自治体病院フォーラムみうら 北川 年一

質問 平成二十年度において、市立病院の勤務医に対する手当を新設するが、このような決定をした理由は何か。また、この手当によりどのような効果を期待しているのか。

市長 三浦市立病院の常勤医師の平均年俸は、十八年度決算において、県下八市の公立病院中、第四位であった。医師確保が極めて難しい状況の中で、医師離れの防止と新規雇用の促進という目的をもって、この順位を引き上げることが必要だと判断した。

市立病院の経営方針 国における社会保障費の削減、とりわけ医療費の削減という流れが、最終的に地域医療の崩壊の危機を招いていると考える。市立病院の運営が大変厳しい状態に陥っていることは、累積債務や不良債務の具体的な額がオーブンになったことで、市民の間でも認知されている。

市長 市立病院の経営が現状のまま立ち行かなくなる可能性は非常に高いと考えるが、市長はどのような手法で今後の方針を打ち出すのか。

市長 二十年度に病院のあり方に関する抜本的な検討を行い、総務省の公立病院改革ガイドラインに基づく公立病院改革プランを策定するので、この中でしるべき対応をし、経営形態について踏み込んでいきたい。

社会保障 社会保障には財政の裏づけが必要であり、国民一人一人の健康で文化的な生活を保障するため、財源確保の手法が議論されなければならぬ。

自分は、既に税制に手をつける段階に至っていると考えるが、市長の考えを伺いたい。

市長 国では社会保障費の増加を受けて、医療や福祉制度の改革が進められるとともに、消費税率の改定等の議論がされていることは承知している。

福祉・医療などの社会保障制度は、国策として格差のない施策が検討されるべきであり、税制についても、地方自治体として機会あるごとに意見を述べていきたい。



体験ツアーで大根を収穫する参加者

子どもを育てる環境づくり

海の安全確保、後期高齢者医療、ごみ処理広域化

日本共産党 立本 眞須美

質問 ①本市における小児医療費助成制度は二十年度にも前進があり、これは若い方への励ましになる。対象年齢の引き上げについて、市長の考えを伺いたい。

②学童保育のない小

市長 ①この制度は子供にかかわる保健医療の充実及び子育てへの経済的な支援として意義あるものと認識している。今後も対象年齢の引き上げについて前向きな検討をしたい。

教育長 ②教育環境検討委員会からの提言や、学童保育施設の拡大についての要望を踏まえ、二十年度に教育施設活用プロジェクトを設置して検討したい。

海上の安全保障 三浦市では漁業は主要な産業であり、漁業者や釣りを楽しむ方々の安全確保、安全航行が保障されるよう、防衛省ほか関係機関に要請すべきではないか。

市長 船の安全航行の確保にためまぬ努力をしていただくと、各方面に機会あるごとに要請していきたい。

後期高齢者医療制度 本制度が実施されると、高齢者の暮らしと健康保持に重大な影響がでると思われる。

市長 市長は、後期高齢者医療広域連合の運営協議会に出席し、高齢者の実態を反映して保険料軽減措置を実施するよう要望してほしい。

市長 保険料を引き下げる場合、その財源は市町村の分担金となるので、三浦市として現時点での要望は考えていないが、制度開始後の動向等は注視したい。

ごみ処理広域化 計画は二市一町で進めてきたが、葉山町の新町長が計画からの撤退を表明したと聞く。今後の計画にどのような



空き教室を放課後の活動場所に

市長 本市のごみ処理を進める上ではスケジューリング的に大変厳しい状況があるが、葉山町の状況を見定めつつ、横須賀市と調整をしなから対応したい。

市長 本市のごみ処理を進める上ではスケジューリング的に大変厳しい状況があるが、葉山町の状況を見定めつつ、横須賀市と調整をしなから対応したい。



地域医療を担う市立病院

観光基本計画策定と来遊客誘致

安心・安全、三浦スポーツ公園

公明党 佐瀬 喜代志

しているが、当面は既存イベントに合わせた運航を実施したい。

子供の安心・安全

政が一体となってスクールガード、不審者情報メール配信等に取り組んでいる。これまでの成果、効果をお聞きしたい。

教育長

スクールの見守り活動により、不審者情報は以前より減少している。

安心メールは、学校行事の連絡なども配信しており、連絡網より早く正確で助かるという意見が聞かれる。

スポーツ公園の整備

整備中の三浦スポーツ公園について、管理棟の機能と仕様、

②傾斜の部分や坂道は車いすやベビーカーが通行できる構造になっているのかを伺いたい。

土木・公園担当部長

①管理棟にはロッカー室、公園利用者の受付室、管理事務所等の設置を計画している。

②ユニバーサルデザインを考慮した公園づくりを計画しており、園路整備も基準に適合した整備をしたい。

三浦市独自のサービス

行政として、市民を対象に誕生日サービスを行えば、より「あったかいまち」に通じるのではないかと

市長

三浦市民としての存在感を再認識できれば大変よいことだと考える。貴重なご意見として受けとめたい。



三浦に海のバイパスを (三崎漁港)

農業後継者減少への対策

市立病院の経営改革

無所属 原田 雅一

質問

三浦市の農家数は年々減少しており、このまま推移していくと、基幹産業である農業が大変な事態になると思われる。

農家数が減少している原因の一つとして、後継者の結婚問題があると考える。他の自治体では、ホームページへの花嫁募集記事の掲載や、農協等との連携など、農業後継者の花嫁確保のための対策を

講じている。

市の基幹産業の発展と、後継者に希望を持つためにも、ぜひ農業後継者の結婚問題を重要課題と位置づけ、前向きに検討していただきたい。

市長 基幹産業である農業を維持発展させていくためにも、後継者問題における配偶者対策は重要であると認識している。

過去には、県・市、

農協と合同で、農業体験を通じて農業青年と「みうらふれあいファーム」を実施したこともあり、このような交流の機会をつくってほしいという話も聞いている。

きつかけづくりは必要であり、農協と連携して対策を考えたい。

公立病院改革プラン

国は、公立病院の経営効率化や再編に向けて、病院を持つ自治体への地方交付税の措置や、特例的な地方債の創設により負担を軽減することを柱とした「公立病院改革ガイドライン」を策定

している。

公立病院改革プランの策定

「ガイドライン」をまとめた。自治体に公立病院改革プランを策定することや、病床利用率の低い病院は、病床数の削減や診療所への転換等による改善を図ることが求められている。

三浦市立病院は、医師、医療スタッフが安定していない状況があり、経営はかなり難しいと思われる。診療所への転換や民営化等への転換や民営化等を考える時期に来ているのではないかと

市長

平成二十年度に病院のあり方に関する抜本的な検討を行い、国のガイドラインに基づく改革プランを策定

している。

三浦市の障害者支援

観光資源の整備、部活動の状況

みうら市政会 出口 眞琴

況と今後の見通しは。

②施設運営に対する市単独補助金の検討はしているのか。

市長

①用地や補助申請に関し、県と協議している。昨年十一月には、知的障害者を対象にアンケートを実施した。今後、県や関係団体との協議を踏まえて、具体的な内容を決定するプロジェクトを立ち上げていきたい。

②予定する短期入所事業等は国・県の補助対象となっていないため、市単独の補助も検討したい。

質問

①知的障害者の通所施設の整備は、障害を持つ方や関係者から大きな期待が寄せられている。市長は以前、平成二十一年度の完成を目指しているが、進捗状況

を

する予定である。民営化等の検討をとの意見はあるが、改革プラン策定の中で市立

病院が地域医療の確保

のために果たすべき役割を明らかにしていく考えである。

三浦市立病院は、医師、医療スタッフが安定していない状況があり、経営はかなり難しいと思われる。診療所への転換や民営化等への転換や民営化等を考える時期に来ているのではないかと

市長

平成二十年度に病院のあり方に関する抜本的な検討を行い、国のガイドラインに基づく改革プランを策定

教育長

①生徒の人間形成の面に大きな影響を及ぼす活動である。

②市の体育協会や文

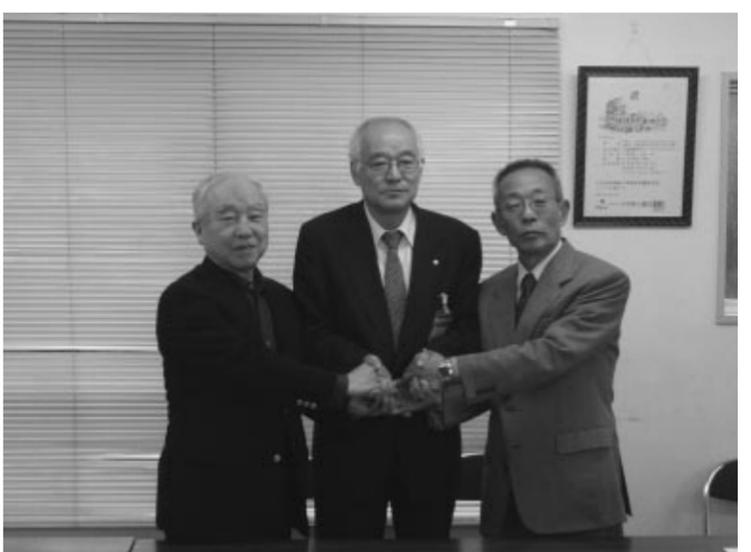
化連盟と、部活動にかかわる役割分担などを定める相互協定を結ぶための協議をしている。

①中学校の部活動に対する考え方は。

外部指導者の要請

等に関する今後の取り組みは。

等



部活動等へ地域と連携 (関係団体と相互協定)



春キャベツの収穫作業

目的を持った人事政策を

政策経営部のあり方、市民との協働

フォーラムみうら 松原 敬司

管理職の業務を理解していないと考える。
市長 勤務評定、人事考課に対して、さまざまなご意見があることは承知している。それぞれの適性・能力に見合った職場で活躍してもらうとともに、職場で働く仲間たちを育て、引っ張っていくリーダーを選ぶための工夫として人事考課制度を行っている。

市長 政策経営部には、市役所の司令塔としての役割を担い、市長が最終的な判断をするために必要な情報を整理することを期待している。

市長 政策経営部には、市役所の司令塔としての役割を担い、市長が最終的な判断をするために必要な情報を整理することを期待している。

市長 政策経営部には、市役所の司令塔としての役割を担い、市長が最終的な判断をするために必要な情報を整理することを期待している。

質問 過去の三浦市では、各部に筆頭の庶務担当課長・係長が置かれ、予算の進行管理等、部全体を把握していた。また、以前視察をした自治体では、企画部に調整担当主幹を置き、庁内と議会との調整をさせることで人材の育成を図っていた。目的、意識的に人材育成をするという視点が非常に重要である。
市長 市民の意見に対し、納得を得られる説明力と問題解決の実績を示すことのできる、いわゆるプロフェッショナルを育成したい。

質問 政策経営部の役割
 三浦市の将来の課題や議会から提起された課題、緊急の課題などを即座に調査研究して、市長に提言する役割を持つ部署だと考える。政策経営部の仕事のあり方について見解を伺いたい。

市長 厳しい財政状況の中、現在も市民の皆様のご協力を得て対応を図っている。ご提案については、十分な検討をしたい。



きれいな公園は地域の協力があるからこそ

勤務評定、人事考課
質問 部下の仕事ができていない原因を探るために、部下が得意でないものをするのが部長の仕事である。これが実行されれば、勤務評定は不要であり、勤務評定必要論者は、

施政方針の矛盾点

国保税の改定、入れ歯のリサイクル
日本共産党 石橋 むつみ

質問 ①市長は施政方針の中で、「3つのS」「ロハス」「あったかいまち」という基本理念は市長就任以来揺るぎないものであると述べる一方で、市政に明るい兆しが乏しい中で大型開発の動きは筋の光と言っても過言ではないと述べている。この考え方は矛盾するものではないか。
 ②施政方針では、民間の土地の有効活用に関する政策誘導は行政の重要な役割であると述べており、さらに、行政として可能な連携を図るとも述べている。これはどのようなことを想定しているのか。

市長 ①「ロハス」という言葉は、心身ともに健康で環境にも優しい暮らし方という意味であり、「あったかいまち」とは、もてなしの心で転入者や来訪者を歓迎するという考え

方である。このような意味から、大型開発とは矛盾しないと考えている。
 ②政策誘導としては、市街化区域と市街化調整区域の区分、用途地域や地区計画などによる土地利用の誘導を行っている。
 行政の役割は秩序ある開発の誘導であり、今後は市民と開発業者との橋渡しなど、行政として可能な連携を図る必要があると認識している。

市長 一般会計も厳しい状況であり、苦渋の決断を下したことをご理解いただきたい。
 保健事業に係る経費は従来から保険税で負担しており、新たに設けられた特定健診の費用も保険税で負担することとされているため、保険税見直しの要因の一つとなっている。

質問 入れ歯のリサイクル
 不要な入れ歯を回収してリサイクルし、その収益をユニセフに寄附しているNPO法人が、地方自治体に回収ボックスの設置を働

きかけている。三浦市にも設置できないか。
市長 情報収集、課題の整理に努めたい。



ロハスの雰囲気漂う諸磯湾

「あったかいまち」とは

農業の情報化、開発事業への対応

無所属 高梨 孝

市長 ①市民や来遊者に、三浦を「あったかいまち」と思っていただけのような施策を展開したいという意味で使っている。
 ②次期基本計画・実施計画の中で地元にお示しするものを準備する予定であり、改めて話し合いを行いたい。

農業情報センター

質問 農業情報センターはパソコンが古く、出荷予約等ができない。この事業に対する市の補助は減ってきているが、市はどのように考えているのか。
市長 どういう方法で機能改善すべきか、と

市長 ①市民や来遊者に、三浦を「あったかいまち」と思っていただけのような施策を展開したいという意味で使っている。
質問 入江地区の開発事業
 ①五十年ほど前、入江地区の埋立許可に際し、知事から事業者等に、水害対策としてポンプや水門を設置すること等が示された命令書が出されている。市は、事業者にこれらの履行を求めてきたのか。
 ②市長の、この埋立地の扱いに対する考え方は。
 ③埋立地の開発事業に伴い、隣接する三浦臨海高校に日陰の影響が出るのではないかと

環境部長 ①昭和五十二年に市、地元区、事業者の間で水路新設に
質問 名刺の公費負担
質問 市職員の名刺はシテイ・セールスの面



大型開発計画のある初声町入江地区

からも有効に活用すべきである。デザインを決めて公費で作成してはどうか。
政策経営部長 公費で作成することの適法性を検証した上で、デザイン等の検討をしたい。

チーム・マイナス6%

漁船の安全確保、学校の安全体制整備

みうら市政会 神田 眞弓

対策が重要であり、市民、行政、事業所、すべてが実践行動を積み重ねることが、より効果的な抑制につながる。と考えている。

小型漁船の安全対策

海上自衛隊のイージス艦と千葉県の小型漁船との衝突事故が発生した。漁業を基幹産業とする三浦市にとって、小型漁船の安全確保は非常に重要である。

学校の安全体制

児童・生徒の学習、生活の場である学校施設の安全性の確保や、児童・生徒みずからの防災教育への取り組みが求められていることから、市では学校の安全体制整備を進める方針である。

教育長

平成二十年度の具体的な取り組みとしては、学校ごとの避難所運営委員会の設置や防災マニュアルの地域への周知に加えて、防災教育の推進、教職員対象の避難所運営講演会等を予定している。

市長

漁業協同組合と連携して、海難事故防止のための講習会開催を検討しており、海上

①地球温暖化防止のため国が取り組んでいる「チーム・マイナス6%」をテーマとして、市はみうらトーク&トークを開催し、その席上で、市長は市民からのアイデアを行政に反映させることが目的と強調した。出席者からは、さまざまな意見が示されたが、その感想を伺いたい。



みんなでやれるチーム・マイナス6%

二町谷埋立地の企業誘致策

まちづくり条例、特定健康診査、市立病院

日本共産党 小林 直樹

プロジェクトの指定を受けて、県とともに企業誘致を図り、さらに企業立地促進法に基づく企業立地重点促進区域の指定を受けることにより、全国に向けて積極的なアピールをしていきたい。

まちづくり条例

市では、現在、景観条例の制定や緑の基本計画、都市計画マスタープランの改定等が予定されており、市の都市計画において重要な時期である。

健康診査制度

①メタボリックシンドローム対策を重視した特定健診に移行した後も検査項目を減らさないことが必要である。

市長

市の計画では、平成二十四年度の受診率

②毎日の生活の中にこそ二酸化炭素排出抑制につながる取り組みがある。三浦市も独自の行動計画を設け、市民、事業所と一体で取り組むべきではないか。

③ごみ処理業務については、市場化可能性調査では全業務を受託できる企業はなく、部分的、段階的に委託を進める方法を検討している。④市の職員数の削減

策定でき、市は市民に對し情報や学習機会の提供を行うこととなっているが、市民への支援についてどう捉えているか。

②市の計画では、平成二十四年度の受診率

の目標を六五%としている。受診率向上のため、モデル地区の設定を提案しているが、具体的な検討はいかがか。

③ごみ処理業務の委託化の仕様及び発注方法については研究・検討を

により、二十一年度当初の委託開始となった。今後のスムーズな委託開始に向けて事務手続を行いたい。

④二十一年度に職員定数条例を改正する予定であり、改正案策定の中で整合性についての検討をしていきたい。

三浦海岸駅周辺の道路整備

アウトソーシングのさらなる推進

みうら市政会 中谷 博厚

質問

国のまちづくり交付金による本市での整備計画は、三浦海岸駅周辺整備、小松ヶ池公園整備、道路の基盤整備、三浦スポーツ公園整備などがある。

市長

市道八十七号線及び八十八号線は南下浦市民センターの前などを通る道路だが、三浦海岸駅前の開発計画により、整備方針が変更される可能性がある。

質問

①十八年度より

アウトソーシング

指定管理者を二十四カ所の施設に導入しているが、市民サービスにはどのような影響があったのか。

②指定管理者からは事業報告書及び利用実績報告書が提出されており、

は年度別削減計画により進められているが、削減計画とアウトソーシングとの整合性をお聞きしたい。

③ごみ処理業務の委託化の仕様及び発注方法については研究・検討を

により、二十一年度当初の委託開始となった。今後のスムーズな委託開始に向けて事務手続を行いたい。

④二十一年度に職員定数条例を改正する予定であり、改正案策定の中で整合性についての検討をしていきたい。



三浦海岸駅前を通る市道88号線



保健衛生委員作成の手作りポスター

を守るにはどうしたらよいか、集中した取り組みをしていくことが必要ではないか。

公立病院改革に

可決した意見書

道路特定財源の確保に関する意見書(概要)

道路整備は、市民生活の利便、安全・安心、地域の活性化のために不可欠であるが、現行の道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、地方では多額の減収が生じ、本市でも道路の新設や事業の継続が困難となり、教育や福祉といった他の行政サービスにも影響を及ぼしかねない。

国においては、現行の道路特定財源の暫定税率を堅持し、関連法案を年度内に成立させるよう要望する。

(提出先) 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 国土交通大臣
経済財政政策担当大臣 内閣官房長官 衆議院議長 参議院議長

本会議における討論

- ◇意見書案第一号 道路特定財源の確保に関する意見書
 - 反対討論 小林直樹議員
 - 賛成討論 四宮洋二議員
- ◇議案第三号 三浦市後期高齢者医療に関する条例
 - 反対討論 立本真須美議員
- ◇議案第十一号 三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例
 - 反対討論 石橋むつみ議員
- ◇議案第二十号 平成二十年度三浦市一般会計予算
 - 反対討論 小林直樹議員
 - 賛成討論 岩野匡史議員
 - 高梨 孝議員

委員会条例等を改正

◎三浦市議会委員会条例の一部を改正
四月一日からの機構改革に伴い、常任委員会の所管にかかわる部等の名称を改めるものです。
◎三浦市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正
平成二十年度の六月と十二月に支給される期末手当について、役職加算の措置を凍結するものです。

人権擁護委員の推薦

市長より、人権擁護委員の推薦について意見を求める諮問が提出され、異議なき旨答申することになりました。その結果、次の方々が就任することになりました。

- 中野 美知子氏(海外町)
- 橋本 則子氏(東岡町)
- 長谷川 正代氏(南下浦町上宮田)
- 石渡 千穂子氏(初声町和田)
- 二ノ宮 仁氏(三崎三丁目)
- 三浦 正英氏(初声町三戸)
- 菊池 惠氏(南下浦町菊名)

常任委員会での陳情の審査結果

所管委員会	番号	件名	審査日	結果
総務経済	20-1	「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情	20.3.7	継続審査
都市厚生	19-3	「三崎船舶工業跡地におけるマンション計画」についての陳情書	20.3.10	〃
	19-4	唐池・牛舎建設反対についての陳情書	〃	〃
	19-5	陳情書(重度医療費助成制度を含む3助成制度の維持継続について)	〃	〃
	19-6	住民の健康を守る保健制度の拡充を求めることに関する陳情	〃	〃
	19-7	京浜急行の超高層マンション計画に対する陳情	〃	〃
	19-8	京浜急行電鉄株式会社の三浦海岸駅周辺開発事業に伴う、マンションの建設計画に対し却下を求める陳情書	〃	〃
	19-9	京浜急行の超高層マンション計画に対する陳情書	〃	〃
	19-11	三浦市の私学助成制度拡充を求める陳情書	〃	〃
	19-12	株式会社ダイナセルによる柿ヶ作開発計画に対する行政指導についての陳情書	〃	〃
	19-13	学校給食の民間委託に反対し、直営の存続を求める陳情書	〃	〃
	19-14	県の医療費助成制度見直しに関する陳情書	〃	〃
	19-15	京浜急行の超高層マンション計画に対する陳情書	〃	〃
	19-16	京浜急行の超高層マンション計画に対する陳情書	〃	〃
	19-17	三浦市の給食事業を全て民間委託へ速やかに移行する措置を求める陳情書	〃	〃
	19-18	県の医療費助成制度見直しに関する陳情	〃	〃
	19-19	貴市における医療費助成制度維持に関する陳情	〃	〃
	19-20	深刻な医師不足を打開するための法律を制定するよう、国に対しての意見書決議を求める陳情書	〃	〃
	19-21	「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正をおこなうよう、国に対しての意見書決議を求める陳情書	〃	〃
	19-22	安心して出産できる産婦人科医療体制を整備し妊産婦無料健診を拡大することを求める陳情	〃	〃
	19-23	三崎船舶工業跡地のマンション建設に反対する陳情書	〃	〃
20-2	プロバスト開発計画についての陳情	〃	〃	
20-3	陳情書(「プロバスト計画」臨海計画におけるマリーナ沖への防波堤建設及びテトラポット投入計画の抜本的な見直しを求める)	〃	〃	
20-4	陳情書(「プロバスト三浦計画」臨海部計画におけるマリーナ沖への防波堤建設、テトラポット投入計画の抜本的な見直しを要望する)	〃	〃	
20-5	初声のプロバスト開発計画についての陳情	〃	〃	
20-6	陳情書(三浦市初声地区入江の大開発計画「プロバスト三浦計画」について要望)	〃	〃	
20-7	株プロバストが初声町入江地区に計画している大規模開発計画に対する反対陳情書	〃	〃	
20-8	平成21年4月からの学校給食の民間委託計画の撤回を求める陳情書	〃	〃	

本会議での議案等の審議結果

番号	件名	議決状況	
議案第1号	平成19年度三浦市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	全会一致
議案第2号	平成19年度三浦市水道事業会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第3号	三浦市後期高齢者医療に関する条例	〃	賛成多数
議案第4号	三浦市まちづくり条例	継続審査	—
議案第5号	三浦市部等設置条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
議案第6号	三浦市職員定数条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第7号	三浦市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例	〃	全会一致
議案第8号	三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	〃	賛成多数
議案第9号	三浦市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	〃	〃
議案第10号	三浦市特別会計設置条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第11号	三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第12号	三浦市手数料条例の一部を改正する条例	〃	全会一致
議案第13号	三浦市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
議案第14号	三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例	〃	賛成多数
議案第15号	三浦市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	〃	全会一致
議案第16号	平成19年度三浦市一般会計補正予算(第8号)	〃	〃
議案第17号	平成19年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
議案第18号	平成19年度三浦市老人保健医療事業特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
議案第19号	平成19年度三浦市病院事業会計補正予算(第2号)	〃	〃
議案第20号	平成20年度三浦市一般会計予算	〃	賛成多数
議案第21号	平成20年度三浦市国民健康保険事業特別会計予算	〃	〃
議案第22号	平成20年度三浦市老人保健医療事業特別会計予算	〃	全会一致
議案第23号	平成20年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計予算	〃	賛成多数
議案第24号	平成20年度三浦市介護保険事業特別会計予算	〃	全会一致
議案第25号	平成20年度三浦市市場事業特別会計予算	〃	〃
議案第26号	平成20年度三浦市公共下水道事業特別会計予算	〃	賛成多数
議案第27号	平成20年度三浦市病院事業会計予算	〃	全会一致
議案第28号	平成20年度三浦市水道事業会計予算	〃	賛成多数
議案第29号	市道路線の認定及び変更について	〃	全会一致
議案第30号	三浦市手数料条例等の一部を改正する条例	〃	〃
議員提出議案第1号	三浦市議会委員会条例の一部を改正する条例	〃	〃
議員提出議案第2号	三浦市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
意見書案第1号	道路特定財源の確保に関する意見書	〃	賛成多数
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	異議なき旨答申	全会一致
報告第1号	専決処分の報告について	報告	—
報告第2号	専決処分の報告について	〃	—
報告第3号	専決処分の報告について	〃	—

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、下記日程により開かれる予定です。

月日	曜日	会議名等
6月9日	月	招集告示
11日	水	議会運営委員会(日程・審査方法等決定)
16日	月	本会議(一般質問)
17日	火	本会議(一般質問)
18日	水	本会議(一般質問)
19日	木	総務経済常任委員会
20日	金	都市厚生常任委員会
23日	月	(予備日)
24日	火	二町谷水産加工団地対策特別委員会・財政健全化対策特別委員会
25日	水	(予備日)
26日	木	本会議(委員長報告・採決)

◆お問い合わせは議会事務局へ

電話 046-882-1111 内線462・463

※請願・陳情の提出期限は6月10日(火)です。